

令和2年度第3次補正予算案組替動議の概要

立憲民主党

【組替の必要性】

- 政府の新型コロナウイルス対策は、感染防止対策、医療体制構築、生活・事業支援のいずれにおいても遅れをとっている。「勝負の3週間」による封じ込めも失敗。
- この予算案は昨年12月作成であり、そもそも現在の緊急事態宣言下における危機的な国民生活や事業、医療体制が想定されていない。また、Go To トラベルや Go To イートなど完全にタイミングを誤った予算であり、看過できない。
- なお、直近の豪雪対応を始め、災害復旧にかかる経費等は必要であるものの、国土強靭化や環境基金や大学ファンドなどについては、本来であれば本予算で審議されるべきものである。
- いま、国民が求めている予算は、現下の深刻な状況を克服するための『コロナ集中対策』予算である。よって野党各党は、感染拡大防止と医療体制への支援、個人・事業者支援等に全力を注ぐべく、令和2年度第3次補正予算案の組替動議を提出する。

【大方針】

1. コロナ集中対策予算を追加し、組替

(1) 医療機関・従事者等への支援・・・3兆円

- ・ 医療機関支援（減収分の補填）
- ・ 医療・介護・障がい福祉・保育等従事者への慰労金
- ・ 潜在看護師の活用・研修の実施

(2) 感染防止対策の徹底・・・1兆5000億円

- ・ 医療・介護・障がい福祉・保育等従事者等への公費検査の実施
- ・ 検査の普及促進

(3) 生活困窮への支援・・・3兆4000億円

- ・ 緊急小口貸付・総合支援資金の延長（生活福祉資金貸付制度の充実）
- ・ 失業手当の支給割合引き上げ・日数延長
- ・ 中小企業新卒就業者等就業支援対策（内定取消防止）
- ・ 生活が困窮する低所得の子育て世帯への給付金
- ・ 大学授業料の半額補助、アルバイト学生への収入補助

(4) 事業・雇用への支援・・・7兆5000億円

- ・ 自肅要請に応じた事業者への支援
- ・ 持続化給付金制度の再開
- ・ 雇用調整助成金の延長
- ・ 高収益次期作支援交付金への増額

(5) 地方自治体の支援・・・2兆5000億円

- ・ 緊急包括支援交付金の追加1兆円
- ・ 地方創生臨時交付金の追加1兆5000億円

合計 17兆9000億円

○ これらには、令和2年度予備費残額5兆6644億円（※注）のうち、1兆円を残した4兆6644億円を充てる。※注＝第3次補正予算政府案での予備費減額（▲1兆8500億円）を行わない。

○ 不足する約13兆2356億円は、第3次補正予算政府案を組み替えることで対応。（下記参考資料参照）

2. 補正に含むべきではない予算の撤回

【来年度予算案での措置を検討すべき事項】

・ カーボンニュートラルに向けた基金創設	2兆円
・ マイナンバーカードの普及促進	1336億円
・ 大学ファンド	5000億円
・ Go To トラベル	1兆311億円
・ Go To イート	515億円
・ 災害復旧事業等を除く、国土強靱化の推進	2兆936億円
・ 防衛装備品の支払い前倒しのための経費	2816億円

合計 6兆914億円

【参考資料】第3次補正予算組み替えスキーム

(1) 歳出の増	・・・合計	15兆856億円
・ 上記緊急対策費（上記1.）の不足額		13兆2356億円
・ 予備費減額の撤回		1兆8500億円
(2) 歳出の減（上記2.）	・・・合計	6兆914億円
(3) 歳入の増（特例公債の追加）	・・・合計	8兆9942億円

以 上